

## 総 括 調 査 票

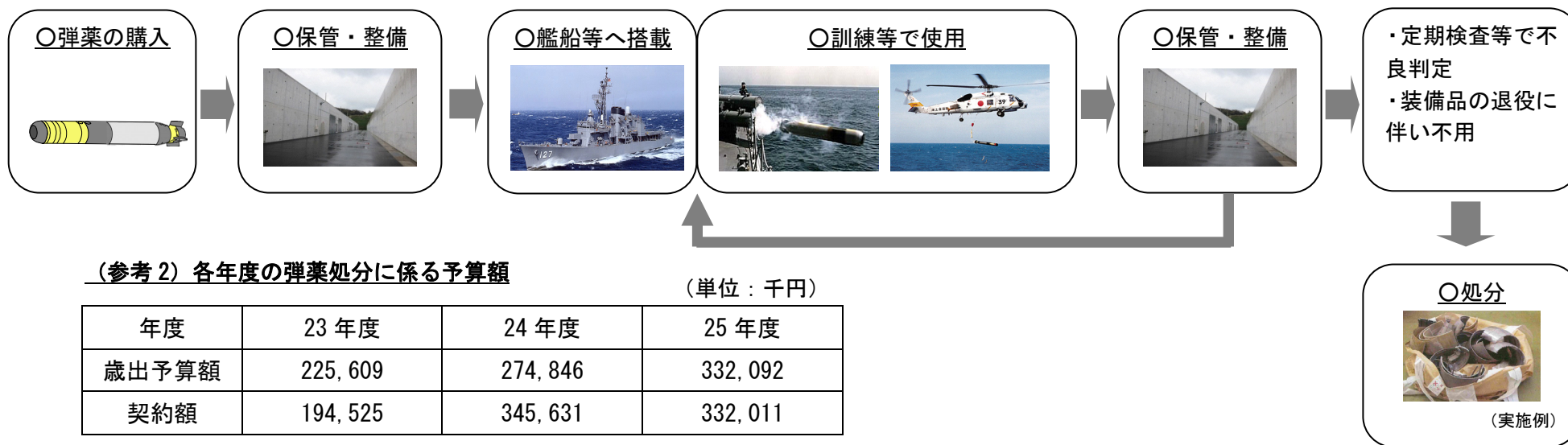
事案名	(48)海上自衛隊における弾薬の処分事業			調査対象 予算額	平成 25 年度 : 332 百万円 平成 24 年度 : 275 百万円		
所管	防衛省	組織	防衛本省	会計	一般会計	調査区分	本省調査
						取りまとめ財務局	—

### ①調査事案の概要

#### 事案の概要

自衛隊では、防衛上の必要に基づき、一定の継戦能力を保持するために必要な弾薬の保有数を装備品ごとに定め、これを満たすように弾薬の購入・保管を行っている。海上自衛隊が保有している弾薬については、定期検査等で不良と判定された場合及び当該弾薬を使用することができる艦船等の装備品が全て退役した場合に処分が必要となり、原則として外注処分を行っている。近年、海上自衛隊の弾薬の処分事業経費が増加しているため、弾薬の処分事業経費を極小化するための措置がとられているか検証する。

#### (参考 1) 弾薬の購入から処分まで (魚雷の例)



#### (参考 2) 各年度の弾薬処分に係る予算額

(単位 : 千円)

年度	23 年度	24 年度	25 年度
歳出予算額	225, 609	274, 846	332, 092
契約額	194, 525	345, 631	332, 011

※「歳出予算額」には、過年度の国庫債務負担行為による当該年度の歳出化経費が含まれている。

# 総括調査票

事案名 (48)海上自衛隊における弾薬の処分事業

## ②調査の視点

不用弾薬の処分を合理的・効率的に実施しているか

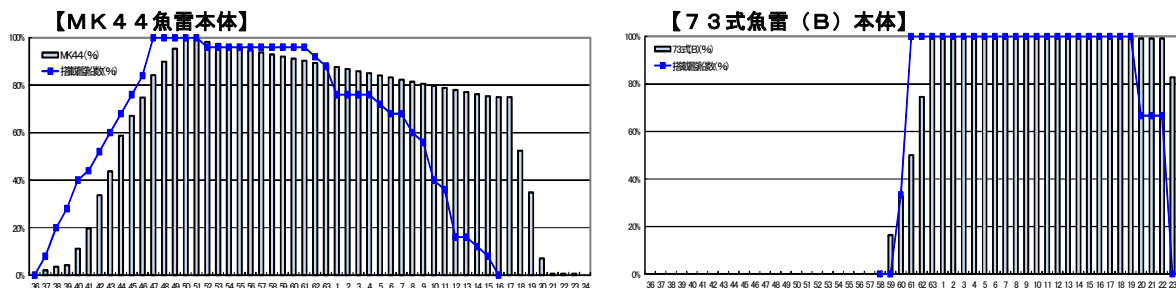
(1) 艦船等の装備品の取得・退役のペースとMK44魚雷及び73式魚雷(B)の取得・処分のペースの実績を調査する。

(2) 弾薬の処分経費を極小化するための措置がとられているか検証する。

(3) 用途のない弾薬を長期間保有するなどの保管場所の非効率な使用はなかったか

## ③調査結果及びその分析

(1) 艦船等の装備品の取得・退役のペースと弾薬の取得・処分のペースの実績(%は、最大保有数に対する比率)



・73式魚雷(B)本体では、平成23年の搭載可能艦船の退役の翌年には処分を完了しているが、MK44魚雷本体は、平成16年の搭載可能艦船の退役後、処分完了するまで複数年を要している。(注)

(注) 処分に関する設備及び技術を有する業者は限定されているため、実態として、年間処理能力には、一定の制約がある。

(2) 弾薬の処分経費を極小化するための措置

○処分方法の見直しによる経費削減の可能性

・平成24年度に処分が終了したMK44魚雷及び73式魚雷(B)本体の処分に係る契約内容及び処分方法を詳細に確認したところ、魚雷本体部分解体後の輸送に関しては、処分個数に関わらず輸送単価が固定的に設定されていた。このため、効率的な輸送を前提に単価を試算したところ、設定されていた輸送単価を下回ったため、魚雷の処分費用については、費用低減の余地があることが判明した。

・火薬部分の処分についても、契約内容等を確認したところ、本体と同様に、費用低減の余地があることが判明した。

○部品の共通化による経費削減の可能性

・12式魚雷については、開発コスト低減化の観点から、97式魚雷と主要構成品の共通化(約38%)が図られているが、今後、97式魚雷の処分段階において、97式魚雷から取り外した共通構成部品を12式魚雷の整備に活用することができれば、97式魚雷の処分費用の削減につながる可能性があることが判明した。

(3) 保管場所

・弾薬は、処分するまでの間は各弾薬整備補給所等にある弾薬庫等で保管しているが、上記(1)にあるように処分完了まで複数年を要する弾薬も存在する。この場合、不用となった弾薬を保管することとなり、弾薬庫等の有効利用の観点から問題。

・なお、今後処分が見込まれる弾薬の中には、処分完了までに10年程度を要するものがある。

## ④今後の改善点・検討の方向性

○ 契約内容の見直し

・ 今後処分する必要がある弾薬については、より効率的な輸送を前提に輸送費用を見積もるなど、処分契約の内容の見直しを実施し、処分費用の低減に努めるべき。

○ 部品の共通化

・ 既に部品の共通化が実施されている弾薬種については、他の弾種への利活用について、処分経費等関連経費の極小化の観点から検討すること。また、今後の弾薬の開発については、防衛力の整備に支障が生じない範囲内で、処分費用の極小化の観点も踏まえて、更なる部品の共通化について検討すること。

○ 弾薬庫等の効率的利用

・ 弾薬庫等の有効利用を図るため、今後見込まれる不用弾薬については、艦船等の装備品の退役計画も踏まえつつ、年間の処分可能数量を考慮した処分計画を策定すること。